

指定緊急作業従事者等に係る線量等管理実施状況報告書

フリガナ		生年月日	年 月 日	個人番号				
氏名		性別	男 ・ 女	指定緊急作業従事 以前の累積被ばく 線量				
住所	電話 ()							
指定緊急作業時の所属事業場の名称								
指定緊急作業時の所属事業場の所在地	電話 ()							
現在の所属事業場の名称								
現在の所属事業場の所在地	電話 ()							
対象期間	年 月 分	通常・指定緊急作業 の区別	通常	指定緊急				
対象月分量 対象積線量	外部被ばく実効線量	(mSv)	作業の場所					
	眼の水晶体の等価線量	(mSv)						
	皮膚の等価線量	(mSv)						
内部被ばく 測定結果	預託線量	(mSv)				作業の内容		
	測定日							
	摂取日							
主要核種ごとの 測定値	核種							
	測定値	(Bq)						
	核種							
	測定値	(Bq)						
	核種							
	測定値	(Bq)						

備考

- 外国人の場合、「氏名」の欄は、漢字表記を持たない外国人の場合はローマ字表記で記載するとともに、「住所」の欄には、現住所のほか、母国における住所及び国籍を記入すること
- 「個人番号」の欄は、事業者が指定緊急作業従事者等の線量等の管理を行うため、これらの者に対し、個人を識別するために番号を付与した場合に記入すること
- 「住所」、「緊急作業時の所属事業場の名称」、「緊急作業時の所属事業場の所在地」、「現在の所属事業場の名称」及び「現在の所属事業場の所在地」の欄は、前回の報告から変更があった場合に記入すること
- 「対象期間」の欄は、指定緊急作業従事者等が、
 - 指定緊急作業に従事する間は、1か月分を対象期間とすること（提出は、当該対象期間とする月の翌月末日）
 - 放射線業務（緊急作業を除く。）に従事する間は、3か月分を対象期間とし、「月分」の欄に、その期間が分かるよう記入すること（提出は、当該対象期間の満了の月の翌月末日）
- 「作業の場所」及び「作業の内容」は指定緊急作業の場合のみ記入すること
- 外部被ばくの実効線量の日々の値を把握している場合には、報告対象月分の日ごとの被ばく線量について、測定開始日時、測定終了日時及びその間の実効線量の一覧を添付すること